

科学コミュニケーションの手引き

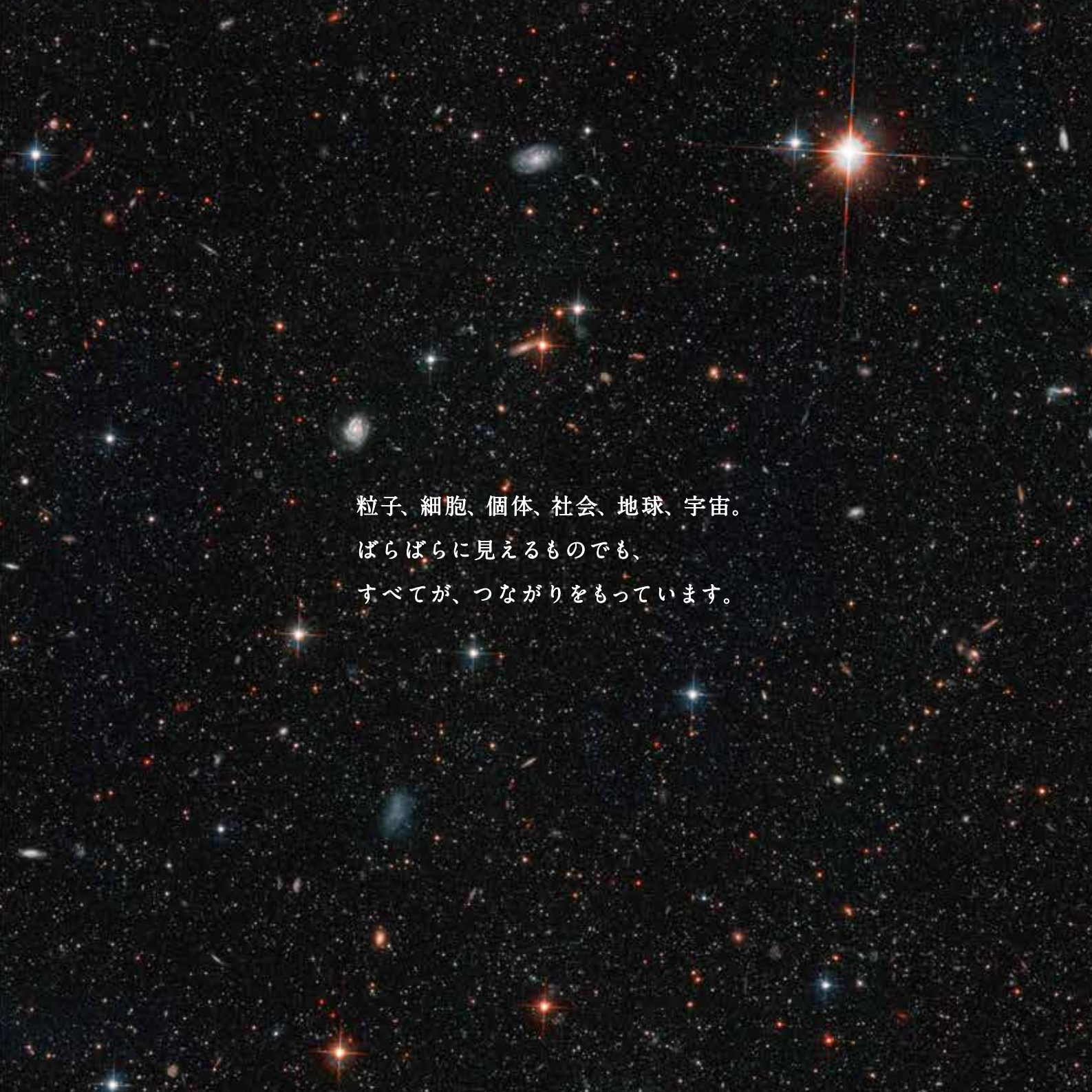
下弦の月



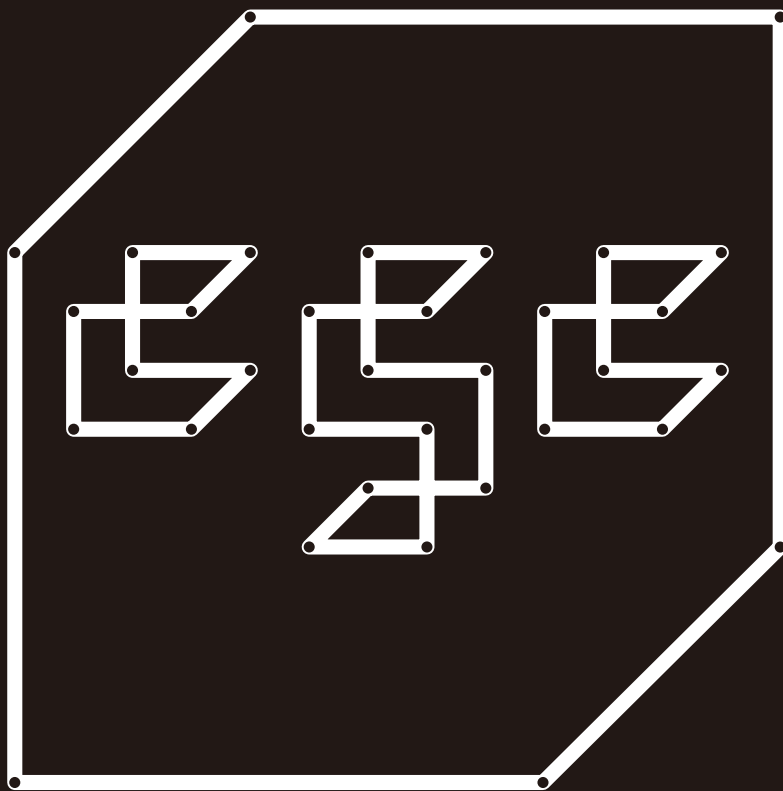


宇宙船から見た下弦の月。
忘れえぬ光の記憶。
月は太陽に照らされて光る。
他者があって、自分がある。
つながりの中で、自分はある。

毛利 衛

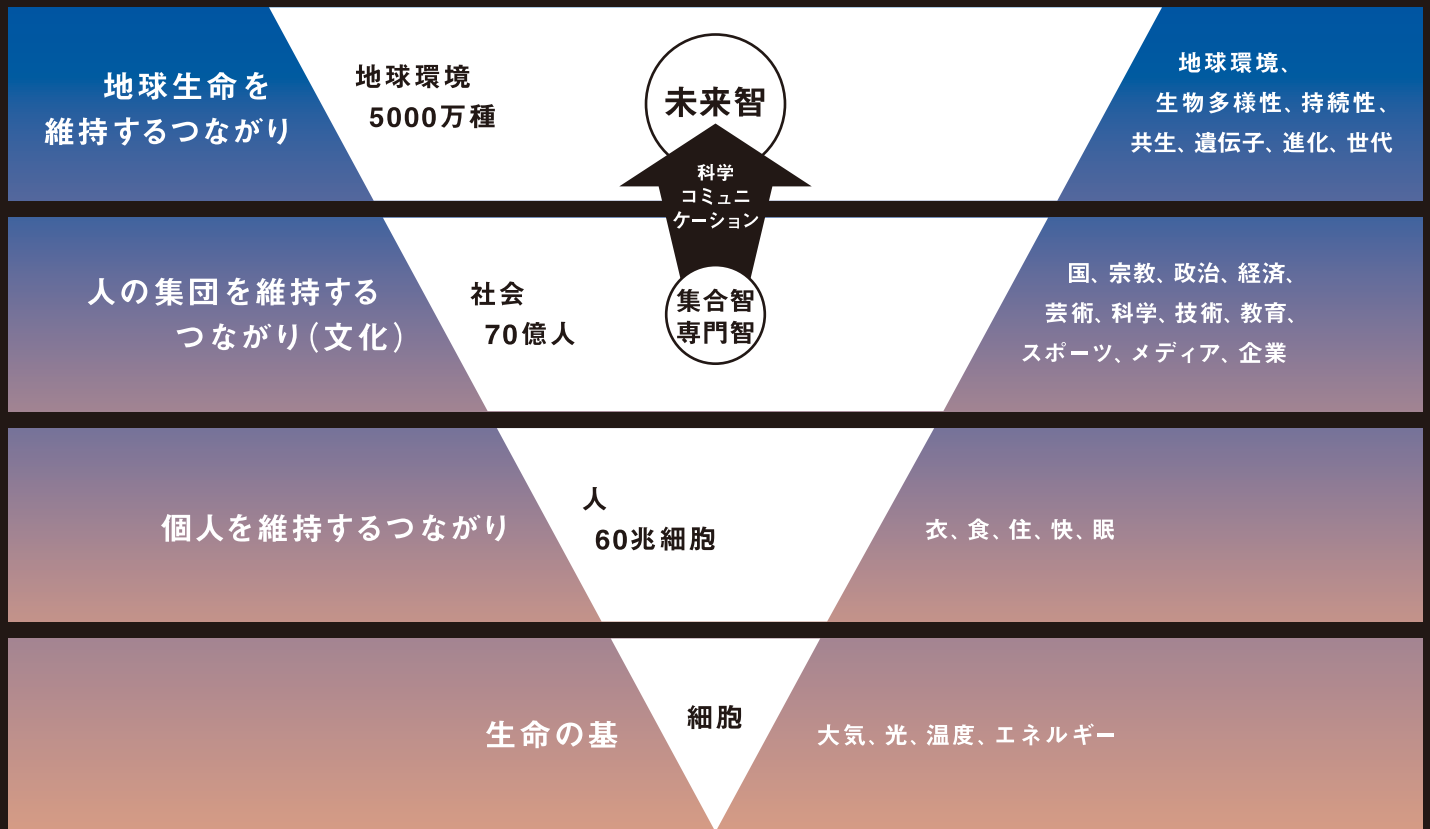


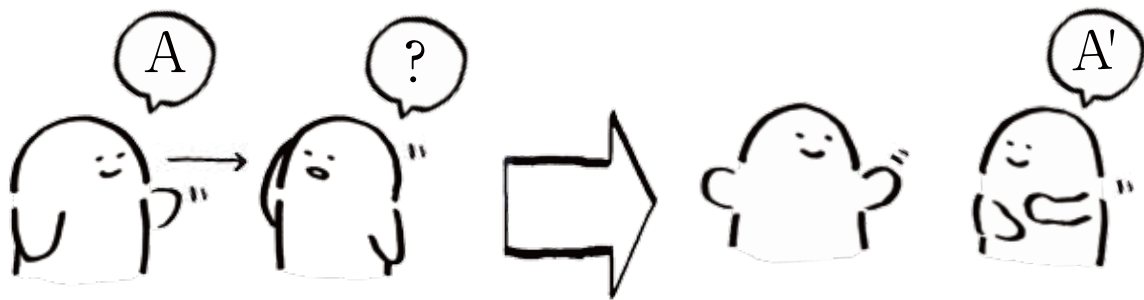
粒子、細胞、個体、社会、地球、宇宙。
ばらばらに見えるものでも、
すべてが、つながりをもっています。



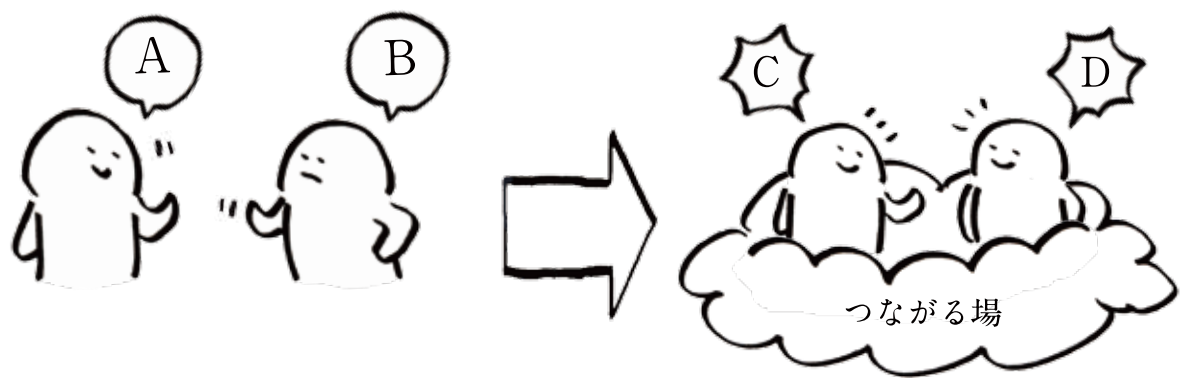
科学コミュニケーションは、
科学と社会のさまざまな要素をつなぎ、
地球生命を維持するための智のあり方です。

つながり TSUNAGARI
ユニバソロジーの世界観



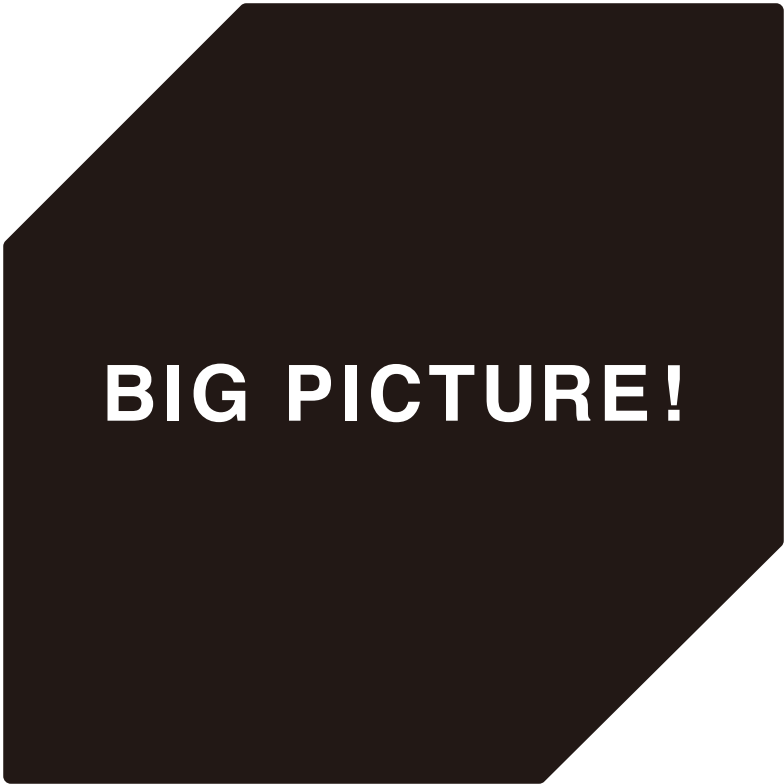


科学コミュニケーションでは、
思っていることや、考えていることを、
うまく人に「伝える」ことが大切です。
でも、それだけではまだ足りません。



対話を通じて、
新しい価値を「つくる」が必要です。

複雑な社会の中で、
役に立つ科学コミュニケーションを実践するために、
2つのことを意識しましょう。



BIG PICTURE!

ひとは、BIG PICTUREをもつこと。
部分にとらわれず、常に全体の中の自分を俯瞰することです。



THINK AHEAD!

もうひとつは、不確かな現実を生きるうえで、
たえず未来に思いを馳せること。THINK AHEAD! です。

科学技術が正負両面で地球生命に大きな影響を与え、
国境を越えて克服すべき課題が複雑化している現在、
人間という地球生命を維持するために、
科学コミュニケーションがあなたにも求められています。
さあ、今日この日から始めましょう。

BIG PICTURE!
THINK AHEAD!

